

## 医学研究実施について

当院では下記の研究を実施しております。この研究は水戸協同病院倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。研究の対象となる方(または代理人の方)で、この研究計画について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に試料や情報を利用することをご了解できない場合は、お手数ですが下記の連絡先までお申し出下さい。

ただし、対象となることを希望されないご連絡が、研究期間以降になった場合には、研究に使用される可能性があることをご了承下さい。同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

### 【研究課題】

ICUにおける人工呼吸器管理患者の早期離床リハビリテーションプロトコル導入後の効果

### 【研究計画の概要】

#### ○目的

集中治療室(Intensive Care Unit:以下ICU)在室中あるいは退出後も、運動機能、認知機能または精神の機能に障害が残る集中治療室症候群(Post-Intensive Care Syndrome:以下PICS)が原因で生活の質(Quality Of Life:以下QOL)が低下している患者は未だに多い。予防には、早期リハビリテーション(以下早期リハ)が有用である。国内においても、2018年診療報酬改定に基づきICUにおける早期離床・リハビリテーション加算(以下早期リハ加算)が導入された。早期リハ加算が開始されてもなお、各施設の環境や療法士の経験等に基づいた早期リハプログラムのばらつきは依然として存在しており、多くの施設ではエビデンスに基づいたプロトコル作成や運用に至っていない。当院のICUでも2024年5月から早期リハプロトコルが試験導入され7月から本格運用となる。人工呼吸器管理中の患者において早期リハを行うことで、身体機能の改善、人工呼吸器短縮、ICU在院日数の短縮に効果あり、非薬物療法として実施することが推奨されている。今回、人工呼吸器管理患者を対象とした早期リハプロトコル導入前後における離床状況や気管挿管期間について比較検討および離床に影響する要因について検討したいと考えた。

#### ○研究期間

2024年倫理審査終了後～2024年12月  
(データ収集期間:2020年4月～2024年12月)

#### ○対象となる方

ICUに入室し、人工呼吸器管理となった患者を対象とする。人工呼吸器管理患者の中でもICU滞在期間が2日以内の場合や死亡、予後不良、転院搬送となった患者は研究対象から除外する。

#### ○研究に利用する試料、情報

電子カルテより、情報収集を行い、年齢、性別、疾患名、ICU在院日数、気管挿管期間、重症度(Sequential Organ Failure Assessment:以下SOFAスコア:腎機能、PLT、意識、酸素化、BIL、循環)、せん妄の有無、BMI、CRP値、ICU入室時からリハ介入までの時間、離床までの時間等を調査する。

#### ○倫理的事項

倫理的事項について、あらかじめ水戸協同病院の倫理審査委員会にて審査され、承認を受ける。また、氏名は匿名化し個人が特定されないように配慮する。

本研究は、電子カルテから情報収集を行うため、あらゆる期間にわたってプライバシーが保護され匿名性が保証されること、得られたデータは厳重に管理しデータを本研究以外の目的で使用することはない。

#### ○その他

研究に参加することで、新たな費用や謝礼金は発生しない。また、本研究に関して開示すべて利用相反関係ない。

### 【問い合わせ先】

水戸地域医療教育センター・水戸協同病院 ICU  
研究責任者:鈴木 沙織

電話:029-231-2371(代)